

厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき
厚生労働大臣が別に定める者の一部を改正する件

○厚生労働省告示第二百十号

厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法（平成二十年厚生労働省告示第九十三号）第一項第五号の規定に基づき、厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者（平成二十四年厚生労働省告示第百四十号）の一部を次のように改正し、平成二十八年四月二十日から適用する。

平成二十八年四月十九日

厚生労働大臣 塩崎 恭久

別表一に次のように加える。



27	ラパチニプトシル酸塩水和物（当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成27年11月20日に、医薬品医療機器等法第14条第9項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限る。）に係るものに限る。）	3221から3223、3231から3233、3241、3242、3245及び3248
28	アピキサバン（当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成27年12月21日に、医薬品医療機器等法第14条第9項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限る。）に係るものに限る。）	2458
29	インフリキシマブ（遺伝子組換え）（当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成27年12月21日に、医薬品医療機器等法第14条第9項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限る。）に係るものに限る。）	4042、4044、4045及び4047
30	ベキサロテン（当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成28年1月22日に、医薬品医療機器等法第14条第1項の規定により承認されたものに限る。）に係るものに限る。）	3816、3817及び3829